

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第75号

2009年8月

やどりき水源林ニュース

発行(財)かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
 220-0073 横浜市西区岡野2 12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
 045-412-2255 URL: <http://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ(費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜に「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。10時30分と13時の2回案内を行っています。(8月いっぱい。9月より13時からの1回)やどりき水源林ゲート前までお越しください。

水源林ってどんな森

日本では世界平均の約2倍の1,800mm位の雨が降ります。その雨水を蓄えておく役割を森林が担っています。ですから、豊かな森林を育てていくことが、私たちの生活に欠かせない水を確保することになります。それで水源林といわれているのです。今年は、梅雨が長引き、西日本の各地では集中豪雨による土砂災害、河川の氾濫などで沢山の方が被害に遭われていますが、水害を防ぐにも豊かな森が必要なのです。

右の写真のように、森に下草が育つことが水を蓄えるのに大切ですが、太陽の光があまり入らずに草の育たない下の写真のような森もあります。このような森は、雨水が土砂と一緒に流れ出してしまう、土砂崩れが起きます。

県は、豊かな森に変える取り組みをしています。目指すのは、樹齢100年以上の巨木林、一代目だけではなく二代目も成長させていく複層林、針葉樹と広葉樹が混ざる混交林などです。



日があたり下草が多く、水を貯める森



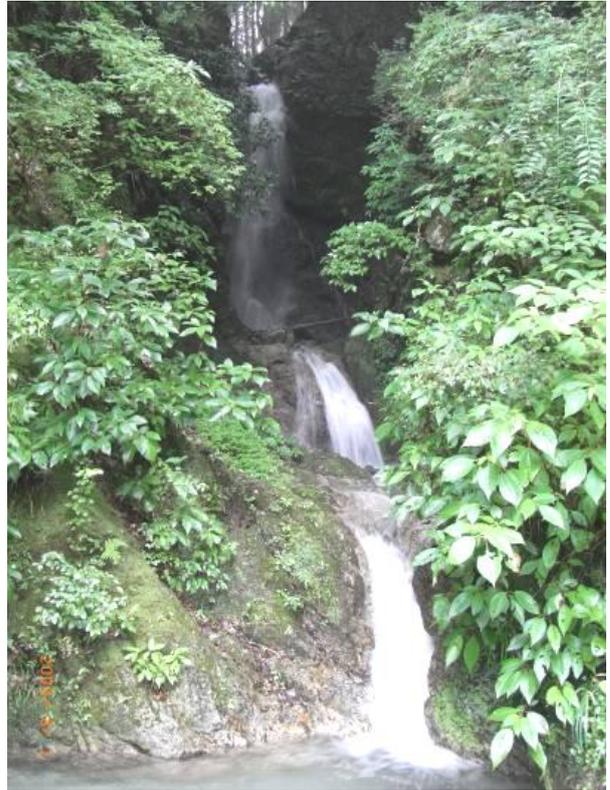
土がむき出しで、雨が降ると土も一緒に流出する、整備の必要な森



溪流とタマアジサイ。咲くのが楽しみです。(上)



ヤドリキ沢から中津川さらに川音川、酒匂川となり、飯泉取水場で採水されます。(中津川の魚道がある堰)



上の写真はやどりき水源林の名所である〔滝郷の滝〕です。
下は林道コースに沿って流れている溪流で、周囲の緑と少し青っぽい水が大変きれいです。

8月のトピックス



コクワガタ 発見

枝? エダナナフシ?



ヒグラシがよく鳴いています

イワタバコの花が咲いていました。



9月の水源林



アブラチャンなどの実が大きくなっていく季節です。